



広報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp/>

平成14年

11 NOV
月

No. 469

やかめいと 活力あふれる クオーブレー・ライフ いいたて



一針一針心を込めて

世界で1本手作りネクタイ

公民館が行っている「女と男のわくわくトーク」事業は、11月5日に行われ、福島市の塩沢清子先生を講師に招いてネクタイ作りをしました。

今回のネクタイ作りは全て手縫いで行われ、参加者らは一針一針ていねいにネクタイを縫っていました。



▲いちばん館で行われた飯塙地区の懇談会のようす

10月15、18、21日の3日間、草野、飯塙、臼石それぞれの小学校区ごとに「市町村合併問題を考える地区懇談会」が行われ、村と住民とが市町村合併問題について話し合いました。

懇談会では村長が座長となり、合併問題について、住んでいる環境、財政の問題、国、県、相馬6市町村のうごき等、様々な角度から話し合いがされました。今回の特集ではこの懇談会の内容をご紹介します。

飯塙村の進むべき道は？ 住民と村がホンネで論議

市町村合併問題を考える 地区懇談会 いよいよ結論へ！？

◆国の進める市町村合併

今、国では少子化や高齢化、財政問題等の解決策として、また増える住民ニーズに対応できる強固な自治体の創造を目指して、現在約3200ある自治体を1000にしようと市町村合併を進めています。「平成の大合併」と呼ばれるこの問題は、全国に大きな波紋を投げかけました。

全国では、すでに合併したり合併に向けて動きだしたりしている自治体、又は合併しない意思表示をした自治体など様々な動きがあります。

◆村の対応

こうした動きを受けて村では、合併を「目的」としてではなく、住民が村・地域を見つめ直す機会としての「手段」ととらえ、住民の意見をできるだけ合併の意思決定に反映しようと、市町村合併問題を考える村民集会や、住民の代表たちによるディベート（討論）、合併情報誌の発行など様々な方法で、住民への合併問題に関する情報提供をしてきました。

◆合併問題、いよいよ
次のステップへ

平成17年3月の合併特

例債の適用期限が迫り、
村もそろそろ合併にひ

つの方向を出す時期がき
ました。このため、村で
は住民の合併問題に対す
る率直な気持ちを、直接

の話し合いの中で汲み取
り、今後の方向付けに繁
栄しようと、今回の「市
町村合併問題を考える地
区懇談会」を開催しまし
た。



▲臼石地区の懇談会

村民からの意見・質問

(紙面の都合上、一部のみをお知らせします)

◆合併の形態はどうするか

- ・村は今まで相馬郡の市町村と付き合いが多かったので、相馬郡で合併すべきである。
- ・農協等の例を見ても、相馬地方一円で合併するのが望ましい。どうせなら大きな規模で合併すべき。
- ・八木沢地区は原町市、大倉は相馬市、二枚橋地区は福島市とそれぞれの地区で昔からの生活圏が異なる。一概にどちらがいいかと言われても答えられない。

◆意思決定の時期は

- ・合併特例債の期限にこだわることなく、国や県、外の市町村のうごきも見極めた上で結論を。
- ・例えば今合併するとしても、相手が見えない。決断を急がないで欲しい。

◆再度の話し合いについて

- ・この懇談会終了後、最終意志決定の時にもう一度話し合いの機会を持つべき。
- ・意見の取りまとめは、議会だけでなく、アンケートや住民投票による方法もあると思う。

◆住民の総意は合併賛成か、反対か

- ・自治体とは、顔の見える、声の届く範囲であるべき。大きいだけでよいということではない。
- ・今回の合併に従わないと、国から冷遇される心配はないのか。
- ・個人的には合併反対だが、やはり迷ってしまう。村がわからないなら住民もわからない。
- ・今の村の環境は職場等の問題等はあるが、生きていく上で十分であり、住民同士の助け合いがある。それを大事にしたい。

◆その他の意見

- ・合併しても飯館村だけつまはじきにされないか。
- ・まだまだ住民の判断材料が足りない。
- ・合併した場合、しない場合の住民の負担の度合いが判断材料になるのでは。
- ・合併しなくとも生き残れる施策を、村から国・県に提案できないか。
- ・合併しなかった場合のデメリットを減らすような制度、特例を要望、考案してみてはどうか。
- ・村として合併に対する一つの信念のようなものを明らかにするべき。
- ・合併の賛否を決定する時（議会等）は、全村民にその様子、結果の詳細をお知らせする手段を取って欲しい。

懇談会で出された村長からの5つの問い合わせ

●1、もし仮に合併するならば、合併の形態はどうするか

もし、合併するならば、2市3町1村の相馬地方を一体とした合併、原町市を中心とした南相馬、あるいは伊達郡との合併など考えられるが、皆さんはどうお考えか。

●2、意思決定の時期は

合併特例債の期限（17年3月）に間に合わせるために、15年3月頃までに意思決定の必要がある。だが、飯館村だけ合併する、しないの決定をしても、周りの市町村から孤立してしまう恐れもある。決定の時期については議会と協議の上、政治的判断が必要である。

●3、再度の話し合いをおこなう可能性がある

今回の懇談会で住民の意見を聞く機会は終わりではなく、今後、村として最終の意思決定をする機会があるような気がする。その時は、もう一度住民の意見を聞く必要があると考えている。

●4、住民の総意は合併賛成か反対か

スパリ個人的な意見で結構なので、合併に賛成なのか、反対なのか聞かせて欲しい。

5、決まった結果にはみんなで協力を

合併問題について、住民全員が100%賛成、あるいは100%反対はありえないでの、もし、合併しない・するどちらに決まっても、決まったほうにみんなで協力して村づくりを進めていくことが大切だ。

くの意見が出され
づいても住民から多
くの意見が出され
以上のお問い合わせ等が
今回の懇談会では、
した。

合併問題に対応して、さらに慎重に整
理して、会で出された意見を整
く考えです。



▲たくさんの意見が出されました。
(写真は草野地区の懇談会)